

「大田原市について質問させてください」とのご意見についてご回答いたします。

令和2年3月24日 掲示

貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご意見のありました件につきまして回答いたします。

令和2年度の予算につきましては、歳入では、市税の伸び悩みや普通交付税の合併加算措置の段階的縮減などにより一般財源不足が想定され、歳出では、会計年度任用職員制度の導入による人件費の増加や子育て支援から障害者、高齢者福祉に至る扶助費などの義務的経費の増加が見込まれ、歳入確保、歳出削減の両面から立て直しを推し進めなければならない見通しとなり、例年に比べ厳しい予算編成が想定されました。

令和2年度予算編成にあたりましては、こうした状況を踏まえ、財政運営の大改革と位置づけまして、三役や管理職の人件費の削減を実施するなど緊急財政対策を講じ、歳出削減に取り組んだところです。また、大田原マラソン大会、与一まつりの一時休止や市単独補助金の20%削減、施設の統廃合など、そして給食費無料化から一部自己負担を求めることとしましたことは、熟慮を重ねた末の苦渋の決断でありました。全ての行政サービスは貴重な財源が基となり、その財源に憂いが生じた今、健全な財政運営を最優先課題と捉え、本市の現状を受けとめ、明るい大田原市の未来を創生するために決断したところです。

令和2年度の子ども関連の予算につきましては、給食費無料化のための学校給食サービス事業費等補助金の一部を減額する判断をいたしました。一方で、幼稚園費の特別支援児補助、私立保育所等特別事業費補助、佐久山小学校と福原小学校の統合に伴うスクールバス運行业務、小学校教科用図書採択に伴う教師用教科書及び指導書等購入、大田原中学校校舎増改築事業などに係る経費につきましては、令和元年度当初予算に比べ増額している予算もございます。

さらには、令和2年3月定例会の補正予算におきましては、「GIGA スクール構想」の実現に向けた小中学校内の通信ネットワーク整備を実施することといたしまして、これらの構想を早期に実現するため、5億円の補正予算を計上しまして、小中学校の情報化施策の更なる推進を図っているところです。

以上のように、子ども関連の予算につきましては、削減するもの、継続するもの、新たに実施するものなど、メリハリをつけて予算化しているところでありまして、引き続き、子ども・子育て支援に関し積極的に取り組んでまいります。

今後は、市民サービスの安定と安全安心の維持向上を図るため、市民の皆様とスクラムを組み、「オール大田原」体制で、持続可能で健全な財政運営を基本に市政運営を推進し、大田原市総合計画「おおたわら国造りプラン」に掲げた

将来像、『知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら』の実現を目指し、老いも若きもすべての市民が幸せを実感できる大田原を創生してまいります。

●担当：財務部 財政課 財政係 TEL(23) 8797

令和2年3月24日

大田原市 総合政策部 情報政策課 広報広聴係 TEL(23) 8700